



『キリストの平和が、ことばが心に！』(要旨)

コロサイ 3・15～17 説教者 原田憲夫

今週の聖句 コロサイ 3・16

*賛美 [説教前]讃美歌 21 459 番(1,4 節), [説教後] 新聖歌 227 番(1,2 節)

今日の箇所は、「キリストの平和」が私たちの心を支配するようにと勧めます。また、「キリストのことば」が私たちのうちに豊かに住むようにと勧めます。そしてその現れが、「感謝の心」(15 節, 16 節, 17 節)になると明かします。心の耳を傾けましょう。

【1】「キリストの平和が、あなたがたの心を支配するように…」(15)

▷「キリストの平和」が、ざわめく私たちの心の中で確かな審判員となるように！(「心を支配する」…競技中の審判員にあてた語。)

「キリストの平和」が、日常生活にあって「感謝の心」(15,16,17 節)を生み出すのです。

【2】「キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むように…」(16a)

「キリストのことば」が、私たちの内に豊かに住む時、私たちはたえずキリストご自身に触れることになり、そしてキリストにより永遠の神との交わりにあずかるのです。

その人は誠実に「神の愛に生きよう」と努めます。その結果、日常生活の中に「キリストの香り」が漂うようになります。

▶神のことば-キリストのことばには<力>があります！

もし聖書を「神のことば」として謙虚に聴くことがなければ、信仰上の決断にはつながらないでしょう。けれども、私たちがへりくだって「神の語りかけ」を聴くならば、大事な決断をする場面で勇気と力が与えられるのです。

→「神のことばは生きていて、力があり、両刃(和ハ)の剣よりも鋭く、・・・心の思いやはかりごとを見分けることができます。」(ヴル4:12)

▷聖ヒエロニムス(A.D.340?-420)；「聖書を知らないことはキリストを知らないことである。」

【3】「感謝と賛美」… (16b-17)

(1) 知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い…

キリストを信じるということは、それまでの生き方と決別することを意味します。→「古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着る」(3:9,10)。

「新しい人」が互いに結び合う「キリストの

からだ」(教会)は、だれかが喜ばばともに喜び合います。だれかが罪に陥り、苦しんでいれば、知恵を尽くし互いに教え、忠告し合い、悔い改めと赦しと慰めをともに味わいます。

(2) 主イエスによって父なる神に感謝し…

「新しい人」、すなわち、キリストの平和、キリストのことばが心に豊かに宿っている人たちからは「感謝」が溢れます。それは「神をたたえる歌」となります。▷詩篇 100:3b-4

- ・詩と賛美と霊の歌により：
- ・感謝をもって(恵みに溢れて)：

【勧め】

今なお不安定な日々が続き、また幾多の試練を経験します。もしあなたが信仰の道に迷いを感じているなら、もう一度新しい心でキリストのことばを聴いてほしいのです。キリストはご自分のいのちに代えてあなたを永遠の平安の日々へと招いているからです。

今日、私たち一人ひとりに語られる勧め、すなわち、「キリストの平和が心を支配し、キリストのことばが心に豊かに住み、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい！」との勧めは、私たち以上に過酷な時代を歩んだあの初期の兄弟姉妹から現代の私たち-教会へのすばらしい挑戦ではないでしょうか!?

それに対し、私たちは今日、大きな感謝をもって、キリストの平和の使節として、キリストのことばを携え、感謝しつつ、私たちの生活の座で応えていこうではありませんか!

(祈り)

(賛美)

